



【FP療法(75/1000)について】 (シスプラチン+5-FU)



ID:

様

1

コース目



お薬の名前と治療のスケジュール(副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前		作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目																							
アロカリス注	吐き気止め	30分																																																					
パロノセトロン注 デキサート注	アレルギー予防・ 吐き気止め	30分																																																					
マンニトール注	利尿剤	1時間																																																					
シスプラチン注	抗がん剤	2時間		 腎臓を保護するため、たくさんの輸液を点滴します。無理のない程度に水分補給をして、頻繁に尿を出しましょう。																																																			
5-FU注	抗がん剤	96時間																																																					



治療による副作用

:注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目
自覚症状	食欲不振・吐き気											食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																		
	口内炎											口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかりと行いましょう。																		
	下痢											便の回数が多くなったり強い腹痛をともなったり、水の様な便が出るときはお知らせ下さい。																		
	手足のしびれ											手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。																		
	脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)											髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配すぎないでください。																		
検査値	白血球減少											感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																		
	赤血球減少(貧血)											貧血の症状(動作時の息切れ、動悸)がでたりします。転倒に注意しましょう。																		
	血小板減少											出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																		
	腎機能低下	顔や手足のむくみ、尿が少ない・出ないなどの症状が出ることがあります。																												



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

香川大学医学部附属病院薬剤部